

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(5月3日から5月9日回答分)

	症例数	手術	
陽性	11	帝王切開	5
		開腹手術	3
		腹腔鏡下手術	1
		整形外科手術	2

COVID-19疑い患者	1	帝王切開	1
--------------	---	------	---

事前シミュレーション実施		あり	10
		なし	2

手術室で気管挿管	3	AWS	1
(喉頭展開1回で挿管)	(3)	McGRATH	2
区域麻酔	7		
既挿管	1		
記載なし	1		
SGA	0		
	PPE	フェイスシールド	1
		ゴーグル	6
		シールド付きマスク	5
		記載なし	0

N95	10
PAPR	2
サージカルマスク	0
手袋2枚	8
手袋1枚	4

自由記載

陽性	帝王切開	母児面接・カンガルーケアできないため、術野モニタ用画像システムで児を見せた
	整形外科手術	術前のD-dimer> 1 3であったが、隔離されている為、DVTのエコー検査が不可能であった。 心エコーはhandyエコーで施行したが、画像が残せず、循環器内科医の目視での結果でしか判断できなかった。
	開腹手術	他の患者との動線の区別。全ての患者が入室してからの手術室入室とし、退室時も動線から人払いをした。
	帝王切開	ゴーグルをするとルンバール時 髄液の逆流がわかりにくい
	腹部手術	緊急手術のため、人手が足りなく苦慮した。検査体制も不慣れで、最終的には偽陽性だった。 エアーパーテーションを使用して、飛沫の拡散を防ぐよう努力した。